

## 学士特定課題研究に関する情報

(2016年度以降入学の学生)

2018年10月現在

4月に研究室所属し、翌年3月に卒業する標準的な場合のおおよその日程と概要は下記の通りです。年度ごとに若干の変更があるので、研究室所属ガイダンスや掲示などにて必ず確認してください。

6学期	必修科目「研究プロジェクト」を履修してください。この科目の目的の一つは、各研究室の様子を学生の皆さんが直に見ることです。
1月初旬	「研究室所属ガイダンス」実施
1月から3月まで	所属研究室を決めていきます。研究室所属を希望する学生は学生同士で相談し、3月末までに所属研究室（案）を決めてください。調整は学生に任されています。  <b>各研究室への所属人数には制限があります。</b> (1) 各研究室の受入最大数は、研究室ごとに決まっています。 (2) その他の制限がついている場合もあります。 (3) 制限は年度単位でかかります。9月所属の場合も、その年度の制限が適用されます。  <b>詳細は「学士特定課題研究（研究室所属）ガイダンス」の際に説明します。研究室所属を希望する学生はこのガイダンスに必ず出席して下さい。</b>
3月末	研究室所属案の最終結果を学生代表が系主任に提出
7学期	科目「地惑先端研究基礎S」の履修を強く勧めます。 この科目では、学士特定課題研究の実施に必要な背景知識や技能を学び、研究計画を策定します。  科目「学士特定課題研究」の単位を7学期にとりたい場合は、まず、7学期冒頭に研究の構想を発表会で発表します。次に、発表会等での指摘を踏まえ、学士特定課題研究の遂行に向けて指導教員とより具体的な研究計画を相談します。研究計画の策定に時間がかかるなど、場合によっては、研究の実施が8学期まで継続することもあります。
8学期	科目「学士特定課題研究」において、本格的に研究を実施します。  「地惑先端研究基礎S」を履修していない場合は、まず、8学期冒頭に研究の構想を発表会で発表します。次に、発表会等での指摘を踏まえ、学士特定課題研究の遂行に向けて指導教員とより具体的な研究計画を相談します。研究計画の策定に時間がかかるなど、場合によっては、研究の実施が9学期まで継続することもあります。
2月	「学士特定課題研究発表会」において、研究成果を発表します。

9月所属・卒業、早期卒業など、この日程以外で学士特定課題研究に取り組む場合は系主任と早めに連絡を取り、所属可能な研究室と卒業までの日程などを相談・確認してください。